共生舎　教室だより

2020年７月２２日号
発行人　髙橋　慎吾

新北海道スタイル

当教室も実践しております。宜しくお願い致します。

ご協力お願い致します！

毎度当教室のご利用、誠にありがとうございます。

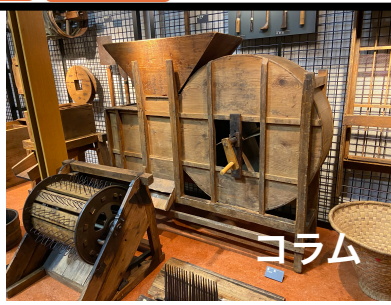
さて、当教室は、おかげさまで軌道に乗りはじめたところではございますが、かねてより協力関係にある企業さんとの提携事業や、教室に必要な物の購入のための外勤等により授業直前まで教室を開けることが多くなっています。

また、在室していても、塾生さんの個人情報等を扱う事務をしていたり、多い日では教室以外３カ所で働いてから、授業に入ることもあるため、在室はしていても、休憩している場合があります。

そのため、当教室の営業開始時間について、改めてお知らせしますので、**その時間より早く教室入りしたい場合は、なるべく事前に（できれば１時間前までに）塾長に確認して下さい。**

【営業開始時間】
・月、火、木曜日　18:00～
・水曜日　16:00～
・金曜日　16:30～
・土曜日　14:00～　（通常授業15:00～）

また、今月より定休日を次の通りとします。
・毎週日曜日
・第２または第３土曜日
・最終の週の火曜日
以上、よろしくお願いいたします！



コロナ禍で、それまでの生活で当たり前とされてきたことが、当たり前ではなくなる不便さを感じながらも、少しずつ「ウィズ・コロナ」の時代を受け入れていくしかないような状況下を、私たちは今生きています。そんな日々の中ちょっと思ったことを、書かせていただきます。

たとえば、当教室は飲食自由としていますが、皆さんが持ち込む、あるいは時折塾長から提供される飲食物が、皆さんの目の前にあらわれるまで、どんな人のどんな働きがあったのでしょうか。詳しくは社会科の「物流」のところで学ぶことになるのですが、

【①作る人がいて、②売る人がいて、③買う人がいる】

これが基本となります。では、
・①と②の間では、どんなお仕事が関わっているでしょうか。
・②はお店同士での売り買いもあるのは知っていましたか。
・**③のお金を手に入れるには、どうするのでしょうか。**

特に**③の部分**は、よく考えてみて欲しいのです。みなさんは自分でお金を稼いでいますか。お金を稼ぐというのはどういうことでしょうか。

ほとんどが保護者さんのお金ですよね。保護者さんが働いてくれているからいろいろできるんですよね。では自分が働けば自分の好きなようにできる…って、なぜ児童労働がダメなのかわかりますか。

そう思うと、子供としては好きなようにできなくてストレスを感じるかもしれません（塾長も子供の頃そうでした）。ただ、みなさんが生活に困らないように、保護者さんはもちろん、いろんな人の労力があることに、思いを巡らせてもらえると嬉しく思います。

優しく真ん中を割ってね！

今年は特に換気が重要な年のため、当教室でも、飲食店などで見られるような虫除けネットを入り口に設置しました。玄関のドアを開放していると、よく小さい蛾が入ってくるのですが、このネットによって、ほとんどの虫が入れなくなります。

設置初日に教室内で見たであろう、小さな虫たちは、どうやらこのネットの目より小さいようでしたが…蛾が入ってきてパニックになるのは避けられています。

出入りは、真ん中のマグネットのところを、優しく押し開けると可能です。あまり強い力で押すと、ネットがはがれてしまいますので、気をつけて入ってきて下さいね。

本日時点で、登録塾生数が過去最多の２５名。教室を開いて４年半で、ここまでたくさんの塾生さんをお迎えできるようになったとは、感慨深いものがあります。日頃より皆様のご利用、また塾事業への多大なるご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

色々な学年で、色々な考え方を持った学生さんが一堂に会する楽しさはある反面、楽しいだけでは生活は成り立たない…上のコラムはその一つでもありました。お金があればなんでも買えるけど、そのお金ってどういうものなのか。簡単におやつや飲み物が手に入るけど、粗末にしていないか。いくら学力が高くても、人の思いや考えが動かす社会も確かに在るということを知らないと、人間はAIにとって変わられてしまうかも…！